

フィンランドの学校体験 + 算数授業への私的提案

京都市内算数サークル / 2024年度 算数講座

2025年 1月 18日 (土) 1:30 ~ 5:00 (定刻開始します)

会場 京都教育文化センター 地階 公益事業室

京阪電車神宮丸太町駅下車5番出口徒歩5分 / 電話 075-771-4221

参加費 1000円 (京都市内算数サークル会員は800円)

定員 15人

※ 1) メールで事前申込みをしてください。万一中止の時は、メールでお知らせします。

2) 定員に達していない場合は当日参加も可能ですが、万一中止の場合も連絡ができないことをご了承ください。

1:15 受付

1:30

①フィンランドの学校体験報告

3:00

休憩

②算数授業への私的提案

教材「かけ算」「割合」などを一緒に考えます

5:00

講師 // 桑村明憲

<自己紹介>

1951年兵庫県宝塚市に生まれる。

兵庫県で小学校教員を2年勤める。その後、京都府城陽・宇治で勤める。算数サークル活動を続ける。70年・80年代にはいろんな教科の研究会に参加して民間教育を学ぶことができた。また当時は、京都府をあげて「到達度評価」研究に取り組んでいて、授業論や評価論から学ぶことが多かった。

私が授業を構成して、他の人の授業を見るときに柱としていた。50歳を超えて、少人数の算数担当を5年間、3、4、5、6年の授業プラン、プリントや教具づくりを任せてもらった。LDの研究会にも参加し子ども達の多様な学習の仕方を学ぶことができた。

2013年、退職後に英語学習を兼ねての外国訪問としてフィンランド(半年)の学校体験を選びました。

<講座の内容>

1. フィンランドの学校体験報告

国際的な学力テストで上位であるフィンランドに興味を持ち行きました。100人ほどの学校規模や手厚い指導体制などうらやましいシステムに驚きました。でも、日本と大きくちがうところは、子どもや先生たちのゆとりのある生活です。そんな驚きの体験報告と日本で取り入れられないかと考えたことを報告します。

2. 算数授業への私的提案

教科書でも自主プランでも、「子どもたちに育てたい認識や力」を意識しないで学習指導はできません。毎時間の流れ、小単元の流れ、単元を通しての子どもたちの認識形成の流れを見るときのものさしを私は持っていました。そのものさしで、具体的な教材「かけ算」「割合」などを一緒に分析してみましょう。

<申し込み・問い合わせ> 本田陽一

〒606-8411 京都市左京区浄土寺東田町37-9

TEL・FAX・留守電 075-761-3590

Eメール honda-kyoto@sky.plala.or.jp



下校時の子どもたち



フィンランド6年生比例の授業